

地球市民交流会   
Global Community Interaction

都庁旧国際部に召集された東京都防災語学ボランティアたちによって結成したこの地球市民交流会（通称；GCI）も今年で12年目を迎えることになりました。

これまでの活動を通して、ほんのわずかでも在日外国人及び帰国者の生活支援と相互親善に寄与することができたことは私たちの誇りでもあり、多くの方からの協力があればこそと感謝しています。

GCIの活動が最終的にどこまで支援できるのかは誰にもわかりません。また、その活動主旨からも上位・背景勢力に影響を受けない完全中立の非営利市民団体であるため、年々活動継続・維持が難しくなってきました。

しかし目の前の人権侵害に対し、なんの疑問も持たず声もあげない風潮に組するという事は、今この場で起きている危機を助長するばかりか、将来私たちの愛する者の人権が危ぶまれたとき傍観するだけの社会をつくること、それに加担することにつながります。

GCIが目指すことは特権でもなんでもなく、ごく当然の誰もが背景に因らず、人として尊重される社会です。

その実現には、私たちみんなの協力が必要です。

地球市民交流会

# GCIの活動

## 多言語支援

- 派遣通訳 生活上の身近な「ことば」の問題解決
- 災害通訳活動 災害時被災外国人支援
- 外国人相談 日常の不安・悩み・日語学習に対応

## 人材育成

- 外国人によるボランティア推進
- 子ボラプロジェクト 未来を担う子どものための体験学習
- 地球市民講座21 新旧住民のための各種研修会

## 地球市民ネットワーク

- 姉妹・協力団体
- ボランティアセンター
- 東京国際団体ネットワーク

# 多言語支援

地域社会で生活する上で、言葉の障害のために困難な状況にある、在日外国人や帰国者たちへの日常生活の支援しています。

## ✓派遣通訳

支援対象となる依頼者からの要請を受け、派遣通訳担当スタッフが詳細を確認・調整の後、必要言語のGCI通訳士を活動現場に派遣します。

## ✓災害通訳

大規模な災害時に日本語を母語としない被災者への支援活動と、それを行う災害通訳士の養成と認定を行います。

全232件

### □法律分野

警察での面会時、裁判判決時、入国管理局手続時、外国人登録課窓口等

### □医療・福祉分野

患者・家族への様態・手術説明時、医師研修時、妊婦と病院側との話し合い等

### □教育・子育て分野

学校教育現場での授業、施設職員と利用者の相談、子ども行事での説明等

### □会議・国際行事分野

多国間NGO合同会議、国際フォーラム、シンポジウム、イベントの同時通訳等

### □住居分野

新居探し、契約時、更新時での資料等説明等

### □生活分野

冠婚葬祭、親族挨拶まわり、外部クラブ入会手続時等

### □緊急支援分野

大型災害時の避難所内及び被災地災害センター、被災隣接地での支援等

### □その他分野

非公開活動

# 多言語支援

地域社会で生活する上で、言葉の障害のために困難な状況にある、在日外国人や帰国者たちへの日常生活の支援しています。

## ✓外国人相談

支援対象となる相談者からの生活に関する相談を受け情報提供や支援を行います。全25件

### □法律に関する相談

入管手続書類、在留問題、支援情報について

⇒ 対応: 助言・情報提供、GCI介入

### □医療福祉

医療通訳とその協力に関して

⇒ 対応: 助言・情報提供

### □教育子育て

日本語の問題による子どもの授業、保護者の学校行事参加時等

⇒ 対応: 助言・情報提供、GCI介入

### □住居

日本の部屋さがしでの問題等

⇒ 対応: 助言・情報提供

### □就労

仕事さがしでの問題等

⇒ 対応: 助言・情報提供

### □文化風習

運転免許に関して

⇒ 対応: 助言・情報提供

### □地域参画

ボランティアを受けたい、ボランティアに参加したい等

⇒ 対応: 助言・情報提供

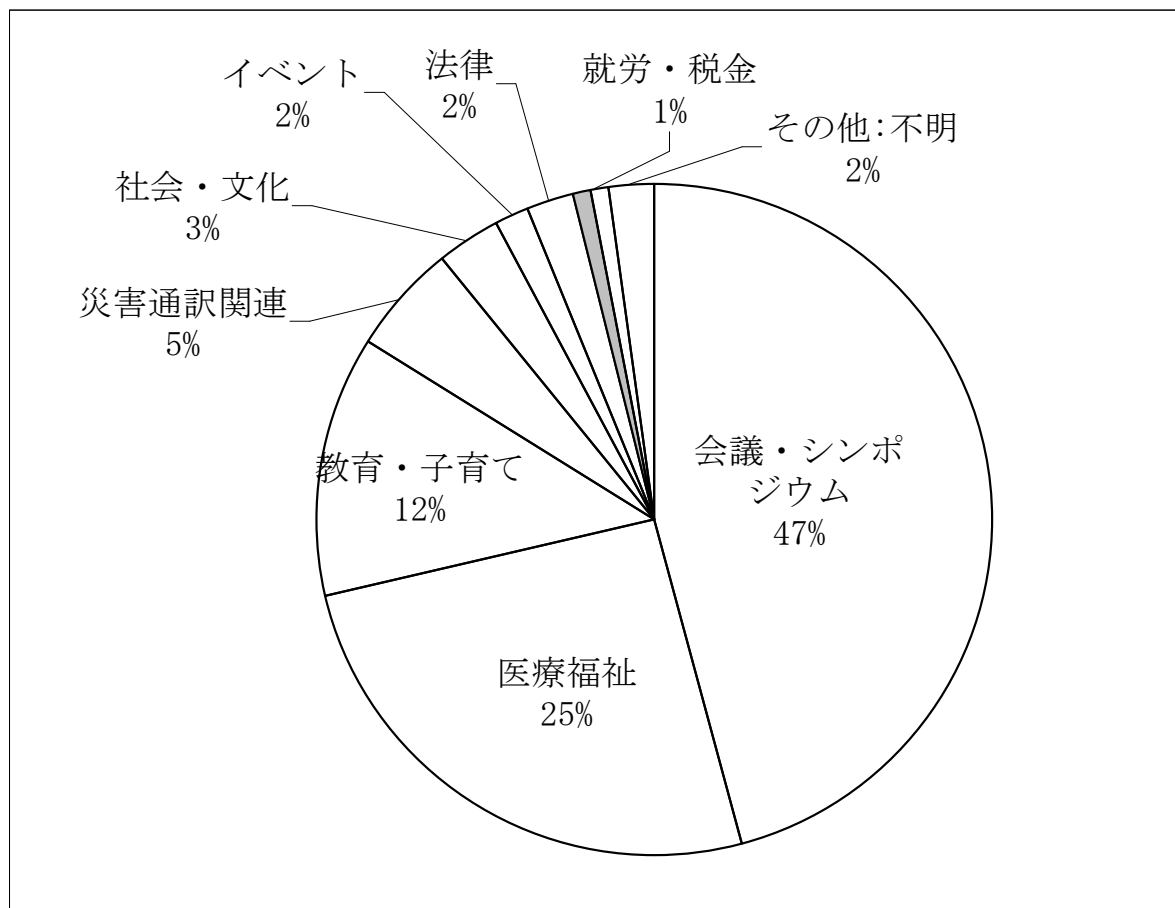
### □その他

不明

# 分野・言語別集計

支援分野	件数
会議・シンポジウム	119
医療福祉	66
教育・子育て	32
災害通訳関連	14
社会・文化	8
イベント	4
法律	6
住居・不動産	2
就労・税金	2
その他:不明	6
相談合計	259

依頼言語	件数
中国語	74
ハングル	69
英語	67
モンゴル語	25
タイ語	3
タガログ語	1
その他（未集計）	20



# 人材育成

地域住民と外国人の協同で行う、語学練習や文化講座、また福祉・環境活動の支援などから、お互いの信頼関係を築き、友情を育むことを目的としています。

## 子ども支援

子どもたちの当然の権利としての健やかな育成と教育の場。学習補助や異文化理解、イベント等をはじめ家族も含めた各種相談や諸々の支援活動を行います。『子ボラ・プロジェクト』・『多国籍子どもひろば』



親と共に来日し日本語・学校教育に不慣れな子どもたちへの就学進学支援を教育委員会や主婦連FSCと共に行いました。

支援者述べ186(内外部125)名・子ども述べ173名



子どもたちの夏体験プログラムとして、外国人青年と協同でクリーンアップ実施

## ✓外国人ボランティア推進

自分たちの暮らす地域に貢献したいと考える外国人は多く、GCIではそれをコーディネートしています。

○市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2008（東京VC主催）分科会協力をしました。

## ✓地球市民講座21

ボランティア向け『通訳研修会』・外国人向け『生活セミナー』

GCIでは、行政、社会福祉協議会、国際交流協会、住民団体、外国人住民、NPO等から依頼を受け、各種研修会の講師派遣・開催をしました。



# 地球市民ネットワーク

## ボランティアセンターとの協働活動



被災者用非常食を準備するGCI-Jr.たち

2007年11月17日に中池袋公園で「首都圏統一帰宅困難者対応訓練」を行いました。東京災害ボランティアネットワークが主催し、豊島ボランティアセンターがサポートに回り、GCIはそれに協力しました。当日は、埼玉コースでのエイドステーション(休憩場所)として、豊島公会堂前の中池袋公園に立ち上げ、被災遠路帰宅者への支援を想定し、炊き出しやお茶の提供等を行いました。早朝に千代田区から出発し、午後には中池袋公園にあるエイドステーションに到着した帰宅訓練者の数は数百を超え、参加者たちに対し、GCI-Jr.(学生ネットワーク)のスタッフらが非常食づくりや非難情報収集や通信訓練等で運営補佐をしました。

## 国際NGOとの協働活動



福田総理大臣の言葉を代読する南野元法務大臣

2007年11月23日・24日・25日の間、千葉県幕張にてNGO主催、政府関係者協力による、初の試み5カ国合同「DV根絶フォーラム」及び「第10回全国シェルターシンポジウム」が開催され、海外4都市からのゲストパネリスト、全国の活動実践者、現国会議員・元閣僚、そして被害当事者など1500名の人が集いました。GCIでは期間中、スタッフを現地に派遣し総勢22名の通訳活動とコーディネートを担当しました。

## 被災地災害センターとの協働



被災地の子どもらと遊ぶスタッフ

新潟県中越沖地震(柏崎市・刈羽村等) 7月16日発生数日後、新潟県と名乗る災害臨時事務局担当者から、被災外国人用に臨時で開設したセンター運営補佐と避難民支援の依頼があいGCIでは多くの協力を得て発生初週に3名の通訳コーディネーターを被災地入りさせ、臨時事務局や被災外国人母子への支援等現場の活動にあたりました。

# イベント

## 東京国際団体ネットワーク発足



留学生歓迎会での様子

2008年3月16日に都内で在日外国人と日本人を対象に活動する国際関係団体の代表者たちが集まり話し合いがもたれました。

外国人支援など国際関係団体には独自で活動展開する組織が多く相互連携が少ないため、緊急の事態に遭遇したとき支援活動がうまく繋がらないこともあることから、情報、人員、ノウハウの共有と協力が不可欠であり、活動に持続性と普及性をもたせ支援対象者へのサポート体制を整えていくことにつながるという結論に達し、賛同団体7所による「東京国際団体ネットワーク」を発足しました。

## 外国人青年たちへ災害時の多言語マニュアルを寄贈



外国人青年たちへマニュアルを寄贈するGCI-Jr.スタッフ

第2日曜日に、GCI-Jr.スタッフによる、異文化理解イベントにおいて、参加した外国人青年たちへ、GCIが多言語のら災害時対応マニュアルや医療用語集が載っている「災害通訳手引」をプレゼントしました。

## NPOフェス・NPOガイダンス（東京ボラセンと共に）



一般参加者にNPOや活動について説明するGCIスタッフ



GCIブースを出展し災害通訳活動についてPRする様子

年数回（主に春と秋）にボランティアやGCIの活動について知ってもらうためのPRイベントに参加・出展しています。



# 収支決算

## • 支出

多言語支援事業	1,340,188
人材育成事業	735,305
企画ネットワーク事業	721,381
事務局維持費	1,552,809
雑費	960
当期支出	4,350,642
前期繰越	-3,191,437
支出合計	7,542,079

## • 収入

会費	117,000
参加費	285,740
補助金等	1,361,893
一般寄付	27,424
指定寄付	2,176,582
緊急寄付	202,770
S特別金	3,370,670
収入合計	7,542,079

# スタッフ紹介①

安倍光河さん

○ GCI通訳リーダー(遂次・同時担当)

○GCIに入ったきっかけ:オーストラリア2年在住中の、友人からの紹介。

女性の弱い立場を思い知った。日本の「法」というものは女性に不利にできている。家庭内暴力などがあるても、日本ではプライバシーの尊重を理由に近所の人らが関わろうとしない。

⇒ 伝えることが大事。日本の法は男性に有利にできているということ。日本のメディアは真実を伝えないこと(殺人の根拠など)。

○これからGCIでやっていきたいこと:もっとこのような通訳(災害通訳)があることを知らせたい。

○いま力を入れていること:通訳、翻訳を続けるためオーストラリアの通訳国家資格に向けて勉強中!

○座右の銘:Practice makes it perfect(継続は力なり)



写真左: 安倍光河さん  
写真中央・右: 取材者 (GCI-Jr.)

網本真純さん(現オーストラリア在住)

GCI企画・通訳コーディネーター

○GCIに入ったきっかけ:大阪でも通訳ボランティアに参加していたので、似たような団体をウェブで検索してみたらGCIにめぐり合った。

○自分の紹介をするにあたって必要不可欠なこと:見た目は25歳、心は18歳。

○将来の夢:会議通訳、学校を作って何かを教える。猫が飼いたい。

○GCIを離れてみて感じたこと:休日は、ボランティア活動やってたころのほうが、張り合いがあったなあ。

○座右の銘:「努力は自分を裏切らない」



写真前右: 網本真純さん  
NPOフェスでの活動風景

# スタッフ紹介②

①派遣通訳になろうと思ったきっかけは？:日本語をどうやって必要な人に助けられるか考えたから。

②仕事をしていて辛い時はどんな時ですか？

:通訳の下準備をしないと、本番で緊張してしまい、上手く通訳できない。

③今まで通訳している時で困った時はどんな時ですか？:準備不足のとき

④通訳として、日ごろどのような勉強をされていますか？:ニュースで毎日シャドーイング

⑤これからの通訳としての目標はなんですか？

:ホテルに就職したので、まずはそれを頑張りたい!笑、より深い通訳になるために、通訳する国の文化などを学ぶ

⑥通訳をするにあたって、自分だけのテクニックなどはありますか？

:ことばにこだわらないこと。自分の知っている簡単な言葉で、記号など、自分だけのメモをとりながらやる。

⑦どのようにして日本語を勉強されましたか？

:韓国の大学で専攻していた日本語の授業や、BSを通して日本のドラマなどを見て学んだ。

⑧日本のいいところは？

:ボランティア、福祉、小学生の通訳を通して外国人に対する配慮が充実している。

⑨韓国の子供たちに、もし日本について紹介するとしたら、日本のどのようなところを紹介したいですか？

:いろんなところを訪れることで、広い視野や世界観をもってほしい。日本の様々なところに連れて行き、その場その場の良さを感じてほしい。

⑩日本の男性をどう思いますか？

:比較すると日本の男性は弱い。そんなに悪くない。

⑪日本の女性をどう思いますか？:かわいい子もいるけど、そうじゃない人がたくさんいた。



金賢珠さん(日本在住4年)

GCI通訳(遂次・同時担当)

GCIに入ったきっかけ:友人の紹介



写真左前:金賢珠さん

写真右・後中央:取材者(GCI-Jr.)

# スタッフ紹介③

永田隆司さん

・どんな活動をしているか：

私たちJLAPは外国人の通訳や日本に在住している外国人に日本語を教えるボランティアをやっている団体です。活動日は毎月第三日曜日の13時から15時で、六月からは第一日曜も含め、できたら月二回のペースでやってきたいと考えています。

・どうしてJLAPで活動しようと思ったか：

もともと区的环境開発委員をやっていたこともあり、ボランティアには関心がありました。

会社を退職し、時間を持て余し、ボランティア情報誌で探した結果、独学で勉強した外国語を生かせるボランティアとしてこのJLAPの活動に参加しようと思ったのです。

・JLAPの特徴や長所はなんですか：

民間の団体ならではのオリジナリティーのある授業が展開できる点ですね。ルールがない分、講師それぞれがエッセイなどを使ったりするなどの創意工夫して授業を展開しています。

・改善したい点などはありますか：

それぞれが共通の基礎問題などを教えるなど、受講生全体のレベルを合わせるために最低限のルールは作りたと思っています。日本語学校とは違う点を生かし、国境を越えての文化交流や仲間作りをこれからは進めていきたいと思っているし、日本に在住している外国人のための生活相談等のサービスをしていきたい。また月に一回の授業では講師も学習者も継続して受講することが困難なので、講師・学習者関係なく多くの方々にリピーターとなってもらえるように頻度を増やしたり、内容を充実させたりしていきたい。

・活動していて嬉しかったことはなんですか：

学習者に「今日は充実した、勉強した」と言われた時が一番うれしいですね。また顔見知りの学習者が増えるところもやる気が湧いてきます。

・今年度の目標はなんですか：

学習者とボランティアの方々が継続して来れるよう、頻度を増やしていく等の体制作りをしていきたいですね。

# スタッフ作品紹介④

杉田繁樹さん

○地球市民交流会 神戸支部 広報スタッフ

地球市民交流会 イメージキャラクター



ほーぷ君



らぶちゃん

矢作聖さん

○地球市民交流会ジュニア 広報スタッフ

